

バンコク 2026 Virtus アジア・オセアニアゲームス 大会概要

- 1 大会名称 Virtus Asia Oceania Games 2026
- 2 大会期間 (1)2026 年 11 月 1 日(日)～5 日(木) (5 日間)
(2)2027 年 2 月 24 日(水)～3 月 3 日(水)(7日間)
- 3 開催地 タイ・バンコク
- 4 運営主体 Sports Association for Intellectual Disability of Thailand
(タイの Virtus 加盟団体)
- 5 参加国 未発表(前回:25 カ国・地域:オセアニア・アジア地域 18、地域外 7)
- 6 実施競技 (1) バスケットボール(3x3、男子・女子) *VIBF 3x3 ワールドカップと併催
(2) 陸上競技、水泳、卓球、テコンドー、ボート(室内)、バドミントン
- 7 参加資格 Virtus の資格認定を有する選手(II-1:従来の知的障がい選手のクラス、II-2:ダウン
症を含む知的障がい及び顕著な機能障がいを有する選手のクラス、II-3:知的障がい
のない自閉症選手のクラス)
陸上競技、水泳の II-1 クラスについてはユースカテゴリを設定
- 8 クラス分け 不明(前回大会の陸上競技、水泳、卓球では、国際競技団体(IF)登録選手のうち、事前
申請を行った者についてパラリンピックへの参加条件となるクラス分けが実施された)

9 競技会場

実施競技	競技会場
陸上競技	未発表
水泳	未発表
卓球	未発表
バスケットボール	Basketball Stadium, Sports Authority of Thailand
テコンドー	未発表
ボート(室内)	未発表
バドミントン	未発表

(参考) 前回(2022大会)日本代表選手団派遣規模概要

派遣規模 72 名(選手 39 名、スタッフ 33 名) 7 競技+選手団本部
 派遣期間 11 月3日(木)~13日(日) (11日間)
 構成 団 長 斎藤利之(全日本知的障がい者スポーツ協会会長)
 副団長 仲前信治(日本パラリンピック委員会 強化支援課 課長)
 主 将 渡辺稜(バスケットボール男子)
 旗 手 小林陸(柔道)
 成 績 メダル獲得数 53個(金25個、銀 13 個、銅 15個)
 上記の他、デモンストレーション競技・種目で金1個、銅1個を獲得
 (派遣人数内訳)

	競技	選手			スタッフ			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
各競技	陸上競技	1	4	5	3	2	5	4	6	10
	バドミントン※	1	0	1	1	0	1	2	0	2
	自転車競技	1	0	1	2	0	2	3	0	3
	柔道	4	1	5	2	1	3	6	2	8
	水泳	7	4	11	4	4	8	11	8	19
	卓球	4	4	8	4	1	5	8	5	13
	バスケットボール	8	-	8	1	0	1	9	0	9
	合計	26	13	39	17	8	25	43	21	64
選手団本部		-	-	-	5	3	8	5	3	8
総計		26	13	39	22	11	33	48	24	72

※デモンストレーション競技

特記事項

- ・Virtus としてオセアニア・アジア地域で初めての総合競技大会として開催。
- ・競技普及の観点から、II-3(自閉症)クラスの設定、陸上競技、水泳の II-1 クラスにおけるユース種目の設定、デモンストレーション競技(バドミントン、トライアスロン)の実施があった。
- ・正式競技のメダルはオセアニア・アジア地域の選手を対象として授与された。
- ・デモンストレーション競技、II-3 クラスの種目で 1-3 位の成績を収めた選手等については、デザインの異なるデモンストレーションメダルが授与された。
- ・地域外の選手が 1-3 位の成績を収めた場合についても、デモンストレーションメダルが授与された。



金メダル



デモンストレーションメダル

- ・表彰式(メダルセレモニー)は、正式競技種目とデモンストレーション競技・種目を分けて実施された。
- ・今大会におけるメダル授与の基準とその適用について、一部の競技で課題が見えた。